

作りなおし、使いなおす。ここちよさの新しいカタチ。



世界を変える デザイン展

imagine
another life
through
the products

vol.2 無印良品 有楽町
ATELIER MUJI
10.1.fri→10.20.wed

10:00-21:00 / 入場料無料

企画：株式会社Granma + 株式会社 良品計画

無印良品

世界を変えるデザイン展 vol.2 は発展途上で製造、使用されているプロダクトのなかで、日本をはじめとする先進国でも十分な価値を持ち、ユニークかつデザイン性の高いプロダクトにフォーカスしました。そして無印良品が掲げる「くりかえし原点、くりかえし未来」というキーワードと共鳴し、簡素さが持つ美しさと、懐かしさが生活者の誇りにつながるような商品のあり方をいっしょに考え、具体的に発展途上で使用されているプロダクト約10点をご紹介します。現地の素材や廃棄物を再利用して製造されたプロダクトの機能美とデザイン性は、わたしたちの生活に、新しくて温かみのある心地よさを与えてくれることでしょう。



Plakkies ブラッキーズ — 廃タイヤから生まれたサンダル

ブラッキーズとはアフリカで「サンダル」という意味。素材となる廃タイヤは現地で回収したもので、サンダルに描かれたカラフルな配色とパターンは、工場周辺のスラム街の孤児たちによるもの。現在、南アフリカではタイヤはゴミ捨て場に廃棄、不法に焼却されるなど環境に甚大な影響を及ぼしている。



Ragbag ラグバッグ — ゴミ(レジ袋)から生まれたバッグ

レジ袋を収集、洗浄、色別に分類した後、約60枚の袋を使って一枚の頑丈なシートをつくる。シートはミシンを使ってさまざまなプロダクトに縫製される。塗料やインクは使用しない。ゴミを製品につくり替えるだけでなく、スラムに暮らす人びとが自立するための雇用も生んだプロダクト。

世界を変えるデザイン展は2010年5月に東京ミッドタウン・デザインハブおよびアक्सシスギャラリーで開催されたプロダクトデザイン展です。発展途上国に住む人びとが直面する、さまざまな課題を解決してきたプロダクトを紹介するほか、カンファレンスやワークショップを開催し、日本発の新たなプロダクトを生みだしていくデザインプロジェクトです。先に行われた世界を変えるデザイン展の開催報告、お問合せはこちらまで。: <http://exhibition.bop-design.com/>



主催: 世界を変えるデザイン展実行委員会
協力: 特定非営利活動法人カンバンセンター、
(財)日本産業デザイン振興会
企画: 株式会社 Granma + 株式会社 良品計画
グラフィックデザイン: 中野デザイン事務所
プロダクト写真: 尾鷲陽介

店舗情報: 無印良品 有楽町 ATELIER MUJI
営業時間: 10:00-21:00 Tel: 03-5208-8241
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3 インフォ有楽町2・3F
・JR山の手線「有楽町駅」京橋口より徒歩1分
・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D9出口すぐ
・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」1出口より徒歩3分